

東京外国為替市場委員会 第 263 回会合 議事録

開催日時	2023 年 8 月 2 日
場 所	日本銀行
議 長	井上 吉康
副 議 長	大澤 孝元
副 議 長	金戸 正登
書 記	桜 健一
出 席 者	23 名

I. オブザーバー交代の件

井上議長より、安田氏がオブザーバーから退任し、松浦氏が後任となる旨が報告されました。

II. 委員立候補の件

大須賀氏から委員に立候補する意思が示され、全会一致で了承されました。

III. 委員再任の件

任期満了を迎える星野委員、井上委員及び福田委員から、再び立候補する意思が示され、全会一致で了承されました。

IV. GCoC再遵守に向けたフォローアップについて

金戸副議長より、東京市場における改定版コードの再遵守状況について情報の更新がなされました。連絡窓口整備の継続方針が提案され、全会一致で了承されました。

V. GFXCの動向について

桜書記より、Proportionality WGによるコード遵守負担削減のためのツールの日本語版実装について、費用負担が生じる見込みである旨、報告がありました。星準委員から、当委員会の会計状況について説明があり、支出は可能との意見が示されました。星野委員、井上議長から、コード普及に向けた日本語版ツールの意義に鑑み、出費について前向きに検討を進める旨提案があり、全会一致で了承されました。

桜書記より、次回コード改定に向けたサーベイの回答先選定方針について提案があり、全会一致で了承されました。

VI. 2023年4月実施の取引高サーベイの結果

平井準委員より、「外国為替取引高サーベイ」（2023年4月調査分）の概要について説明があり、調査結果を当日対外公表することが報告されました。

VII. 株式取引決済日短縮について

井上議長より、米国の株式取引決済日T+1日化にかかる為替市場への影響に関して、小林委員をリーダーとするWGを立ち上げ、市場参加者への注意喚起等に向けた検討を行うこと、WGのメンバーを委員会内で幅広く募ることが提案され、全会一致で了承されました。山本委員、大熊委員からは、各委員の所属するグループ内の資産管理銀行の対応方針について、星野委員からは、同委員の所属行が実施したグローバル調査の結果について、それぞれ情報共有がありました。

以 上

(別紙)

東京外国為替市場委員会委員名簿 (8月2日現在)

<委員>

議長・BCP小委員長	○井上 吉康	(三菱UFJ銀行)
副議長・Eコマース小委員長	大澤 孝元	(バークレイズ銀行)
副議長・Code Of Conduct小委員長	○金戸 正登	(みずほ銀行)
書記	○桜 健一	(日本銀行)
運営小委員長	○山本 崇	(三菱UFJ信託銀行)
広報小委員長	○福田 京子	(オーストラリア・ニューズ・ワラント [®] 銀行)
法律・コンプライアンス小委員長	○田中 裕貴	(三井住友信託銀行)
教育小委員長	○高山 典大	(野村証券)
市場調査・バイサイド小委員長	○鈴木 保匡	(三井住友銀行)
	○星野 昭	(シティグループ証券)
	小林 良平	(JPモルガン・チェース銀行)
	○十時 潤一郎	(上田東短フォレックス)
	○宗川 雄視	(リフィニティブ・ジャパン)
	○加藤 明	(CLS)
	○好川 弘一	(NAB証券)
	○大熊 貴之	(野村アセットマネジメント)
	○井上 裕嗣	(BNPパリバ銀行)
	○山崎 照永	(EBS [®] ディーリング・リソース・ジャパン)
	○大須賀 萌	(ゴールドマン・サックス証券)

<準委員>

	○星 義浩	(マネー・ブローカーズ・アソシエーション)
	○大原 豪	(三菱UFJ銀行)
	○田中 潤平	(みずほ銀行)
	○中野 琴音	(バークレイズ銀行)
	○内山 祐樹	(三井住友銀行)
	○平井 裕一郎	(日本銀行)

<オブザーバー>

	松浦 晃弘	(財務省)
--	-------	-------

(注) 敬称略 (順不同)。○は今回出席。